```
299
(1)
```

$$W = Pt$$
 より、 (仕事率の公式) $P = 210W$, $t = 360s$ を代入して、 $W = 210 \cdot 360$ $= 7.6 \times 10^4 J$ $= 1.8 \times 10^4 cal$

(2)

$$Q=mc\Delta T$$
 より、
$$Q=1.80\times 10^4 cal~,~m=1500g~,~\Delta T=210K$$
 を代入して、
$$1.80\times 10^4=1500\cdot c\cdot 210$$
 $\therefore c=5.7\times 10^{-2} cal/g\cdot K$

(3)

$$W = Pt$$
 より、 (仕事率の公式) $P = 210W$, $t = 450s$ を代入して、 $W = 210 \cdot 450$ $= 9.5 \times 10^4 J$ $= 2.3 \times 10^4 cal$

(4)

$$W=Pt$$
 より、 (仕事率の公式)
融解熱 a は、
$$a=\frac{Q}{m}$$
 より、
$$Q=2.3\times 10^4 cal~,~m=1500g$$
 を代入して、
$$a=\frac{2.3\times 10^4}{1500}\\=15^{cal}/g$$